

平成 26 年度第 1 回周南市行政改革審議会会議録

- 日 時 : 平成 26 年 4 月 22 日 (火) 18 時 00 分～19 時 30 分
- 場 所 : 周南市役所本庁 本館 2 階 第 2 応接室
- 出席者 : 行政改革審議会委員 12 名
- 事務局 : 近光室長、道源主幹、末次室長補佐、神本係長、久行主査、潮田主任
山本主任
- 傍聴者 : なし

1. 委嘱状交付

市長より、新委員 12 名へ委嘱状の交付

任期：平成 26 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

2. 市長あいさつ

3. 委員自己紹介

4. 会長、副会長選出

○事務局 今回は、委員の改選があったので、新たに会長、副会長を選任したい。周南市行政改革審議会規則第 4 条第 1 項の規定により、会長及び副会長については、委員の互選により定める旨規定があるので、名簿により、また、自己紹介等を踏まえて、推薦があればお願いしたい。

○委員 事務局に一任で良いのではないか。

○事務局 「事務局一任」とのご発言があったので、事務局案として、昨年度副会長を務めていただいた「齊藤委員」に会長へご就任いただき、また、副会長には「天内委員」でいかがでしょうか。

ご異議がなければ、拍手をもって、ご承認をお願いします。

(拍手)

○事務局 拍手を持って、「齊藤委員」を会長、「天内委員」を副会長として会議をお願いします。

(会長あいさつ)

(副会長あいさつ)

5. オリエンテーション

(1) 第2次周南市行財政改革大綱について

○**会長** 次第に沿って、会議を進行したい。まずは(1)第2次周南市行財政改革大綱の概要について事務局から説明をお願いします。

(事務局から、内容説明)

○**会長** 事務局からの説明について、質問や意見などはあるか。特に、新任委員の方は、用語や表の見方など何か不明確なことがあればお願いしたい。

○**委員** 結果としてどこがネックなのか。今の説明のなかで、一番できなかったところはどこか。やらないといけないのはどこか。

○**事務局** 今後、財政も厳しくなることから、全部やっけていかないとけない。どれがと言われれば、全てやらないといけない。

○**委員** 全てと言われると焦点がぼける。一番困っているのはこれ、次はこれ、と順番をつけて3つ挙げろと言われると3つ挙げなければ、全般にとわれても分からない。1つ2つ3つと挙げて欲しい。

○**事務局** これまでは全ての実施計画について、○、×、あるいは達成度をだしていた。これから作成予定の第3次大綱の実施計画では委員のご意見のように優先順位、重要度を議論した上で、その進捗管理をやっていきたい。第2次での反省を、第3次に活かしていきたい。

○**委員** それが出来になっているか。

○**事務局** 今はこうした評価になっている。全ての項目に対して、○、×、達成度をだし、全てのメニューを滞りなく、こなしていくことになる。第3次では、優先順位を付け、重点的にやっていく項目を、必ず達成する項目を明らかにするべく、議論していきたい。

○**事務局** 特別会計については多くが赤字となっている。市からの繰入金をもって財政を運営している状況。一点目としては特別会計の見直しがなかなかできていないので引き続き取り組むべき課題であると考え。それから、業務を外に出していくアウトソーシング。民間委託の推進ということで、いろいろや

ってきているが、これも引き続きの課題である。それともう1点。市が出資する外郭団体を含めた第3セクターの見直しをやっていきたい。

○会長 たとえば24年度の実績でいくと、金額ベースで91.8%の計画が実施でき、残りの8%が足りなかった。金額でやっているものと違う指標でやっているものがあり、同じメジャーではないので一概に言いにくい面があると思う。ただ、皆さんが思われたように、何ができてなくて、何がダメだったのかというところが大切な議論である。同じメジャーでというのは難しいかもしれないが、次の大綱や実績について、数値化できるものは数値化することを考慮して欲しい。その他、質問あればお願いしたい。

○委員 第1次行政改革大綱実施状況が94.2%とあるが、次のページの第2次行財政改革大綱実施計画における取扱いでは51.9%が継続となっている。第1次と第2次で流れが大きく変わったのか、また、2次から3次へはどういった流れになるのか。全体的によく分からなかった。

○事務局 1次から2次へと、成果があった目標も継続としているものがある。第3次についても、第2次から引き続いて、新たな目標を持って取り組むものもあると考える。

○会長 第1次において達成したもので、第2次ではさらに進めようということで目標を厳しくしたという理解でよいか。

○事務局 それもある。第1次で目標を達成したものでも、必要な事項であれば継続としたものもある。ご指摘のように徐々に難しくなっている。

○委員 保育園と幼稚園の定員のグラフはあるか。私の知る限りでは、全部満杯で、1園だけ余裕がある。この問題にどういった目標を掲げていて、周南市の子どもの数からみて、今ある状況を満足できているのか、そうしたことを議論しなければ意味がない。

また、女性職員の登用についても、周南市の場合はどれくらいになったのか。頑張りましたではよく分からない。

○事務局 委員が言われたように、現状の数値を挙げ、課題を整理した上で、目標を立てていく。第3次の計画はそうした方向で進めたいので、数値の設定方法など委員の意見をいただき、分かりやすい数値目標を提供していきたい。

○委員 P D C Aサイクルと書いてあるが、平成24年度実績の評価で×や○をつけたのはどこなのかが問題である。P D C AのCはどこがやったのか。評価する主体によって、1次の時と2次の時と評価が随分違って出ることがあるのではないか。誰がこれを○、×としたのか

○事務局 ○、×については、所管課が目標に対して実績を挙げている。それをこちらでチェックし、最終的に本部長指示事項を付けている。

○委員 第2次行財政改革大綱には財政改革と行政改革があり、その次に取組の6本柱があるが、たとえば「選択と集中による事業の見直し」や「市民と共に歩む市政の推進」とか、これはどうやって評価したのか。

○事務局 実施計画において目標を立てて取り組んでいるが、先ほどあったように目標が分かりにくいと指摘を受けているので、分かりやすい指標にしたいとは考えている。

○委員 P D C Aサイクルでいえば、一番問題になるのはアクションの部分、スパイラルアップするかという部分で、そこがうまくいってないと思う。

○会長 他にご意見なければ、この(1)については質疑を終えたい。

(2) 周南市行政改革審議会の運営方針について

○会長 それでは(2)周南市行政改革審議会の運営方針について事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

○会長 それではただいまの説明について、質問がある方はお願いします。

○委員 会議が公開ということは、ここに新聞社やテレビが入るということである。それを拒むことはできない。よって会議録は発言者の名前を書くべきだと思う。それが大前提だと思う。できれば要点筆記ではなく全文筆記をお願いしたい。

○会長 今の点について、事務局から何かあるか。

○事務局 第1回目の審議会から会議録については、見た方が要点を簡潔明瞭に理解できるよう要点筆記で整理をしてきている。このことと委員の個人名を出すか否かについて、この初回の会議で、委員の皆さんでご判断いただきたい。

○委員 本来、これは会議で諮ることではない。会議規則に公開と書いてある。よって多数決にはなじまない事項である。多数決をする場合は、非公開にする場合についてである。今までやってきたことが必ずしも正しいこととは限らない。

○委員 この問題は前回もあった。先ほど委員が言われた通りだが、名前を書かれると、自由闊達な意見がでにくいという心配があり、多数決のうえ否決になった。そうしたことも考慮いただきたい。

○会長 他の委員でご意見のある方は。

○委員 私は要点筆記で良いと思う。発言性の自由度が増すと思う。公開というより、そちらの方針でいろんな意見が出るということの方が、より一層会議の質を高めると思う。

○会長 他の皆様は。

○委員 国の審議会は全文筆記で発言者の名前は全部出ている。なぜ市の方だけ書いていないのか。公開するということは、条例を議会で議決のうえ、公開している。公開というのは、新聞社やテレビ、市民が傍聴する中で会議を行うのが公開である。そこで自由な発言をする。発言者は自分の意見に責任を持たなければならない。周南市議会の全ての会議は公開かつ全文筆記である。情報公開条例とはそういう制度である。

○会長 本来は皆さんと議論をして決めるのが良いが、各委員の意見の集約も難しいので、決を採りたい。会議は公開であり、会議録については会議終了後ホームページ等に公開することを前提とする。

その上で、要点筆記とするか、全文筆記とするか。全文筆記の場合は、個人名を記載する。

まず、会議録について全文筆記とすべきという方は挙手をお願いする。

(1名挙手)

次に、要点筆記とされる方は挙手をお願いします。

(10名挙手)

○会長 採決の結果、この会議の会議録については、要点筆記をホームページ等で公開することとする。

○委員 私は要点筆記とは作文であると認識している。要点筆記とした場合、発言者のニュアンスや言葉の意味が違う場合は訂正して欲しい。

○委員 公開する会議録について、私達がチェックする機会はないのか。

○事務局 今までのやり方でいうと、会長、副会長に内容のチェックを一任してもらっていた。

○会長 これまではそうだったが、各委員にチェックしてもらい、結果を返してもらうというやり方は可能か。

○事務局 可能である。

○会長 会議録については要点筆記の上、各委員にニュアンス等確認してもらい修正があれば事務局に申し出てもらうことでよいか。

(了承)

○会長 会議録については個人名を出さない要点筆記とし、各自の意見の部分を集中的に確認し、それ以外の部分でもニュアンスが伝わりにくいといった箇所があれば、事務局まで申し出ていただきたい。その他意見はありますか。

○委員 行財政改革で先進地というのがあると思うが、周南市はどういったところをモデルとしているのか。

○事務局 なかなか難しいが、政令市は進んでいる。斬新な市長がいるところは進んでいる。11年前に行革担当だった頃は、北九州市や川崎市、現在では静岡市や相模原市が進んでいる。政令市は自主権限が高いので独自の事務改善を進めている。

○委員 政令市以外で成功しているところは。

○事務局 それぞれの取組についての先進地はあると思う。たとえば公共施設の取組で周南市のマンガは先進地である。

○委員 全国どこの市町村もこの公共施設の問題は大問題なのか。

○事務局 そうなっている。

○会長 比較的人口規模が小さい自治体は、環境的にやらざるを得なくなっているのではないか。

○事務局 県内で合併しなかった町もあるが、取組みはされていると思う。

○委員 富山市の取組について本で読んだ。人口が44万人だったと思うので、人口15万人弱の周南市と単純には比較できないが、どういった取組で成功したかという路面電車である。財源については国の補助金を活用し、20年かけて成功した。やはり、市長の斬新なアイデアで成功した例だと思う。

○会長 まちづくりの目標、たとえば富山市であれば、交通網を主力としてまちづくりをしようという明確な目的がある。目標が明確であれば、みんなのベクトルがそこに向いていく。富山市は雪国でもあるのでコンパクトシティーで人を中心に集めていこうという選択をしている。まちづくりの明確なビジョンは必要だと思う。

○委員 話がそれるが、今、住みよい街のランキングをやっているがあの要素はなんなのか。

○事務局 民間の団体が、買い物の利便性、土地の安さなどの要素でやっているとは聞いている。

○委員 近隣でいえば下松市が13位か18位とのことらしい。

○会長 さいたま市でいえば、昨年度までは住みよいまちとしてランキングが伸びたらしいが、そのことにより転入者が増えた結果、地代や賃料が高騰し、またランクダウンしたという話も聞く。

○**会長** その他運営方針に関して意見がなければ私から確認事項がある。会議の開催時間について、これまでは平日の18時としていたが、今後の開催時刻についての要望があればお願いしたい。

○**委員** 業務の都合でこの時間を希望する。

○**会長** 逆に、この時間が難しい委員はご意見を願います。

○**会長** 意見はないようなので、これまで通り平日の18時から開催することとする。他に意見があればお願いしたい。

○**委員** 日程調整が難航すると思うが、本日次回の開催日を決めた方がよいのではないか。

○**事務局** 次回の6月開催日については、今ここで決定できないが、次々回からの開催日については、その場で調整をさせていただきたい。6月の開催については再度日程調整させていただきたい。

○**会長** 他にご意見もないようなので、議題の(2)の質疑について終わりたい。

(3) その他

○**会長** 最後に(3)その他について、事務局からなにか連絡があればお願いしたい。

○**事務局** 昨年度作成した周南市公共施設白書について、より分かりやすく、より広くの方に知っていただくことを目的に、白書のマンガを作成した。

委員には本日お手元に配布させていただいている。

現在、市のホームページに掲載している他、市民の皆様へは5月15日号の市広報配布に併せて全戸配布する予定としている。

○**会長** では、以上をもって本日の議事を終了とさせていただきたい。

(閉会)